

認知症サポートセンター通信



（令和4年3月）

会員のみなさまへ

日頃、認知症サポートセンターの活動にご理解、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

今年度、春からセンターの担当となり、ご迷惑をおかけしながらも、みなさまの温かいお力に支えられ、1年を無事に終えることができてそうです。ありがとうございました。

次年度に向けて、多くの笑顔が広がる活動にしたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



今年度も、コロナウィルス感染の影響で、活動自粛や休止を余儀なくされ、支える人も支えられる人も、思うように日常生活を過ごすことができなかったと思います。

そのような日々ではありましたが、少しの時間でも活動を続ける中で、みなさまからいただいたことばをご紹介します。

依頼会員さんのことば

毎回、提供会員さんの来る日を楽しみにしています。母の気持ちを和ませられます。母だけではなく、日頃介護に戸惑いや苛立ちがどうしても湧き上がる中、提供会員さんと3人で話している内に、気持ちを落ち着かせてもらえ、穏やかに過ごせる時間になっています。本来、母のためにと利用を始めたのですが、介護者の私にとってもホッとできる時間になっています。

提供会員さんのことば

毎回、今日はどんな話が聞けるかしら？と楽しみにして伺っています。90歳を超える利用者さんの戦時中や戦後のお話は、テレビドラマに勝る話で、大変な時代を生き抜く知恵や技、苦労の中でも笑いあり、人情あり、人の温もりを感じる話ばかりで、話し相手にお邪魔している自分が楽しませてもらっているようでした。話をしている利用者さんの生き生きとした表情も素敵です。自分も同じように歳を重ねたいと思わせてくれる時間です。

令和3年度実績報告

（令和3年4月1日～

令和4年1月31日）

- 依頼会員数 187名
- 提供会員数 470名
- 総援助回数 294回
- 総援助時間 540時間15分

連絡先

〒070-0035 旭川市5条通4丁目

旭川市ときわ市民ホール1階

社会福祉法人旭川市社会福祉協議会5条事務所

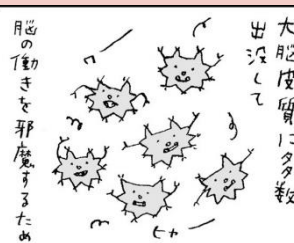
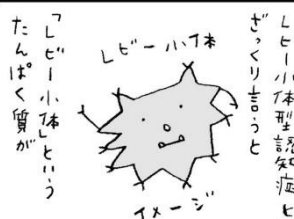
旭川認知症サポートセンター

TEL 90-1449 FAX 23-0746

E-mail: fami_ninsapo@asahikawa-shakyo.or.jp

認知症、はじめました
こぼれはなし ⑩

何やらなすは



認知症と診断されたら・・・ 認知症になってしまったら・・・

老いと共に本人も家族もどうしても考えてしまいます。
携わ中で少しでも和み、笑みの漏れる時間が増えることを
願って、微力ながらも認知症サポートセンターがお手伝いでき
るよう努めたいと思います。

認知症のことを多くの人に知ってもらいたい

2025年には、認知症高齢者が65歳以上の5人に1人の
割合になると推測されています。
さらに軽度認知障害という状態の方も含めると、約4人に1
人の割合になると考えられています。

認知症サポートセンターの依頼・提供会員を始め、一般市民
の方向けに「認知症サポーター養成講座」を開催したいと考
えています。支援や介護をする中で壁に当たることもしばしばあ
ると思います。認知症について学ぶことで、壁を乗り越えるヒ
ント・ひらめきに繋がればと考えています。学びをきっかけに
新たな繋がりや出会いがあるかも知れません。認知症サポ
ーターセンターは、認知症高齢者と介護を担う家族の息抜き、ホッ
とする存在でありたいと考えています。

認知症サポーター養成講座とは？

講座内容：認知症の基礎知識（予防・治療・症状）、認知症の
人や家族の想い、接し方 など

開催形式：1会場にて、90分間の講座を開催します。

*感染対策を講じます。

受講後：『オレンジバッジ』もしくは『オレンジカード』を
お渡しします。

認知症サポーターとは？

「なにか」特別なことをする人ではありません。
認知症サポーター養成講座を受講し、『認知症を正しく理解
する』『認知症の人や家族に対して、地域や職場で温かく見
守る人』のことです。

次年度は、認知症サポーター養成講座を開催します。受講した
ことがない方は、ぜひ検討してください。また、受講したことが
ある方向けに認知症サポーター・ステップアップ講座の開催も検
討しています。

受講希望の方で案内を希望される方はセンター（表面に記載）
までご連絡ください。

認知症があっても居心地良く過ごせる地域であって欲しい。
誰もが老いても、不安や心配ない居場所ができたらい
いと思っています。もっともっと認知症について多くの人が理
解し、本人だけではなく、家族に対しても小さな心遣いが居
心地良く暮らせることに繋がると知ってもらいたい。認知症
のことを理解している人が増えると、もっともっと住み慣れ
た地域で暮らせる人が増えると思うのです。

旭川認知症サポートセンター 担当 齊藤 加奈子

なかまある <https://nakamaaru.asahi.com/>

あさとひわの一覧

<https://nakamaaru.asahi.com/author/11002658> 引用

認知症、はじめました
こぼれはなし ⑪

こぼれはなし

